

## 外郭団体「公益財団法人 横浜市緑の協会」の第3期協約の中間評価について

本市では、平成16年度から、「特定協約団体」と位置付けた外郭団体が、一定期間における主要な経営目標を本市との「協約」として掲げ、協約期間終了時に達成状況の振り返りと次期協約への反映等を行う「特定協約団体マネジメントサイクル」を導入しています。

23年度から25年度までの第3期協約は、第2期協約の達成状況評価結果に加え、外部の有識者による「横浜市外郭団体等経営改革委員会」からの、外郭団体ごとの経営改革に関する提言を踏まえて本市が決定した、各団体の「経営改革に関する方針」に基づいて策定しています。

このたび、第3期協約を策定した当局所管の（公財）横浜市緑の協会の24年度決算等を踏まえて、24年度末時点における2年間の取組の「中間評価」を実施しましたので、その結果を御報告いたします。

### 1 対象団体

公益財団法人 横浜市緑の協会

### 2 中間評価の方法について

協約事項ごとの「評価指標」に基づき、達成状況の「個別評価」を行います。  
その上で、すべての協約事項の評価を総合して、「総合評価」としています。

#### (1) 協約事項の個別評価

| 評価結果 | 評価基準                                |
|------|-------------------------------------|
| S    | 指標や取組が目標を大きく上回っている（目標数値の110%以上達成）   |
| A    | 指標や取組が目標を達成している（目標数値の100%以上～110%未満） |
| B    | 指標や取組が目標を下回っている（目標数値の90%以上～100%未満）  |
| C    | 指標や取組が目標を大きく下回っている（目標数値の90%未満）      |

#### (2) 総合評価

| 評価結果 | 評価基準                     |
|------|--------------------------|
| 優良   | 全協約事項がA評価以上              |
| 良好   | 協約事項の評価でBが2つ以下かつそれ以外がA以上 |
| 要改善  | 協約事項の評価でBが3つ以上またはCが1つ以上  |

### 3 中間評価結果の概要

公益財団法人 横浜市緑の協会

| 総合評価 | 協約事項1 | 協約事項2 | 協約事項3 | 協約事項4 | 協約事項5 | 協約事項6 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 優良   | A     | S     | S     | S     | A     | A     |

### 4 添付資料

公益財団法人 横浜市緑の協会「第3期協約 中間評価（平成24年度）」

### 5 今後の予定

今後、25年度末での目標達成に向け引き続き指導を行うとともに、この評価結果や23年度までに策定した「経営改革に関する方針」等を踏まえ、26年度の目標を設定しますので、26年第1回定例会の常任委員会で、緑の協会の「26年度年次計画（案）」を御報告させていただく予定です。

## 第3期協約中間評価（平成24年度）

| 公益財団法人 横浜市緑の協会 |    |  |
|----------------|----|--|
|                | 評価 | 監査法人コメント   |
| 総合評価           | 優良 | 協約事項のすべてにおいて目標を達成する水準で推移しており、総合評価を優良とする。   |
| 協約事項1          | A  | 団体数については、HPの告知などを行い着実に推進団体を増やすことで、目標を達成しており、評価できる。<br>退会数が入会数と比較して多い年度があるため、更なる新規団体の増加とともに、既存団体の活動を定着させることが望まれる。また、リーダー認定数についても目標を達成しているが、更なる増加に向けては全ての区において、推進リーダーを認定することが望まれる。 |
| 協約事項2          | S  | 新規提携により対象の学校数を増やし、環境教育事業実施件数の目標を達成している。また、動物園入園者数については、目標を達成しているものの、よこはま動物園、金沢動物園の入園者数は減少しており、3動物園の連携等により、入園者数を減少させない取組みに期待する。   |
| 協約事項3          | S  | 利用率を高めるため、テニス教室の開催数を増加させていることは評価できる。<br>しかし、24年度では前年度に対し参加者総数は減少しているため、公園間で連携し、利用者の満足度を高めることで、リピート率の向上に期待する。   |
| 協約事項4          | S  | 超過勤務縮減による人件費の減少など、目標を大きく上回って、管理費を削減しているのは評価できる。  |
| 協約事項5          | A  | 借入金残額は着実に減少しており、このまま目標を達成できるよう、収入の増加と支出の削減に期待する。   |
| 協約事項6          | A  | 当初目標通り管理職登用が進んでおり、引き続き能力の育成を重視しつつ、目標達成に努めていくことが期待される。  |

【各協約事項の進捗状況（平成24年度）】

|     |  |                |  |      |  |                           |  |
|-----|--|----------------|--|------|--|---------------------------|--|
| 団体名 |  | 公益財団法人 横浜市緑の協会 |  | 所管課  |  | 環境創造局 総務課                 |  |
|     |  |                |  | 協約期間 |  | 平成23年4月1日～平成26年3月31日（3か年） |  |

| 【協約事項 1】  |  | 評価指標<br>(比重)   | 単位 |    | 評価指標の推移   |       |       |       |
|-----------|--|--|----|----|-----------|-------|-------|-------|
|           |  |  |    |    | (参考) 22年度 | 23年度  | 24年度  | 25年度  |
| 公         | 緑の推進団体数を1,000、花と緑の推進リーダー認定者数を100人にします。 | 団体数<br>(0.5) (累計)  | 団体 | 目標 | -         | 1,000 | 1,000 | 1,000 |
|           |  |  |    | 実績 | 975       | 1,014 | 1,029 |       |
|           |  | リーダー認定数<br>(0.5) (累計)                                    | 人  | 目標 | -         | 60    | 80    | 100   |
|           |  |  |    | 実績 | 45        | 63    | 83    |       |
| 差異原因      |  | ・24年度は団体登録のPRや各団体活動の支援等により、当初の目標を達成した。                   |    |    |           |       |       |       |
| 達成するための課題 |  | ・推進団体数について、新規登録団体の推進及び活動休止団体を減らすことが課題                    |    |    |           |       |       |       |
| 今後の対応策    |  | ・新規団体登録のPRの継続。各団体の活動を支援、イベント等の告知による活性化を促し、既存団体の減少を抑制する。  |    |    |           |       |       |       |
| 所管局の見解    |  | ・推進団体の後継者育成等に努めるとともに、新規団体の増加にも力を入れ、推進団体数の維持及び増加に努めてください。 |    |    |           |       |       |       |

| 【協約事項 2】  |   | 評価指標<br>(比重)   | 単位 |    | 評価指標の推移   |           |           |           |
|-----------|---|--|----|----|-----------|-----------|-----------|-----------|
|           |   |  |    |    | (参考) 22年度 | 23年度      | 24年度      | 25年度      |
| 公         | 市立動物園で、学校と連携した環境教育事業実施件数を260件とし、入園者数を215万人にします。 | 3動物園入園者数<br>(0.5)  | 人  | 目標 | -         | 2,150,000 | 2,150,000 | 2,150,000 |
|           |   |  |    | 実績 | 1,955,393 | 2,016,649 | 2,161,933 |           |
|           |   | 環境教育事業<br>実施件数 (0.5)   | 件  | 目標 | -         | 240       | 250       | 260       |
|           |   |  |    | 実績 | 233       | 335       | 317       |           |
| 差異原因      |   | ・環境教育事業実施件数については、継続的に実施していた学校に加え、新規連携先の学校数の増加により、目標を達成した。入園者数についても目標を達成した。 |    |    |           |           |           |           |
| 達成するための課題 |   | ・動物園の入園者数について、閑散期（6,7,9,12～2月）の集客増が課題                                      |    |    |           |           |           |           |
| 今後の対応策    |   | ・閑散期に向けて、学校や企業等の団体利用を誘致するほか、来園を促すイベント等を実施し、集客増を図る。                         |    |    |           |           |           |           |
| 所管局の見解    |   | ・個人客の増加や各動物園の特徴を活かした魅力的な運営を期待します。また、近隣区との連携も考慮してください。                      |    |    |           |           |           |           |

| 【協約事項 3】  |                                  | 評価指標<br>(比重)                                       | 単位 |    | 評価指標の推移   |      |      |      |
|-----------|----------------------------------|--|----|----|-----------|------|------|------|
|           |                                  |  |    |    | (参考) 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
| 公         | 公園でのテニス教室の開催数を平成22年度比で350回増やします。 | 開催回数   | 回  | 目標 | -         | 300  | 420  | 600  |
|           |                                  |  |    | 実績 | 250       | 472  | 532  |      |
| 差異原因      |                                  | ・計画していた公園全てで安定した開催ができるようになり、目標を大きく達成した。            |    |    |           |      |      |      |
| 達成するための課題 |                                  | ・継続的に開催するための安定的な利用者の確保が課題                          |    |    |           |      |      |      |
| 今後の対応策    |                                  | ・初級、中級など、利用者の力量に合わせた教室のメニューを提供し、継続的な利用を促進する。       |    |    |           |      |      |      |
| 所管局の見解    |                                  | ・安定的な利用者を確保するために、利用者満足度を高め、リピーターを増やす事業の実施に努めてください。 |    |    |           |      |      |      |

| 【協約事項 4】  |                      | 評価指標<br>(比重)  | 単位 |    | 評価指標の推移   |      |      |      |
|-----------|----------------------|---|----|----|-----------|------|------|------|
|           |                      |   |    |    | (参考) 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
| 財         | 管理費を平成22年度比で7%削減します。 | 22年度対比率   | %  | 目標 | -         | 95.0 | 94.0 | 93.0 |
|           |                      |   |    | 実績 | 100.0     | 93.0 | 82.1 |      |
| 差異原因      |                      | ・職員体制の見直しや、超過勤務縮減を推進したほか、業務の効率化に努めたため、管理費を大きく縮減できた。 |    |    |           |      |      |      |
| 達成するための課題 |                      | ・業務の増加に対する費用の増加を抑えることが課題                            |    |    |           |      |      |      |
| 今後の対応策    |                      | ・組織改革や業務の効率化などを通じて、費用の増加を抑える。                       |    |    |           |      |      |      |
| 所管局の見解    |                      | ・引き続き、業務の効率化の取り組みを進めてください。                          |    |    |           |      |      |      |

|     |                |      |                           |
|-----|----------------|------|---------------------------|
| 団体名 | 公益財団法人 横浜市緑の協会 | 所管課  | 環境創造局 総務課                 |
|     |                | 協約期間 | 平成23年4月1日～平成26年3月31日（3か年） |

| 【協約事項 5】  |                                 | 評価指標<br>（比重）                  | 単位 |    | 評価指標の推移  |         |        |        |
|-----------|---------------------------------|-------------------------------|----|----|----------|---------|--------|--------|
|           |                                 |                               |    |    | （参考）22年度 | 23年度    | 24年度   | 25年度   |
| 財         | 緊急補填事業貸付金を3か年で9,000万円返済<br>します。 | 借入金残額                         | 千円 | 目標 | -        | 109,000 | 79,000 | 49,000 |
|           |                                 |                               |    | 実績 | 139,000  | 109,000 | 79,000 |        |
| 差異原因      |                                 | ・平成24年度は計画通り、返済済み。            |    |    |          |         |        |        |
| 達成するための課題 |                                 | ・財源の確保が課題                     |    |    |          |         |        |        |
| 今後の対応策    |                                 | ・収入の増加と支出の削減で財源の確保を図る。        |    |    |          |         |        |        |
| 所管局の見解    |                                 | ・貸付金を確実に返済できるよう、財源確保に努めてください。 |    |    |          |         |        |        |

| 【協約事項 6】  |                   | 評価指標<br>（比重）   | 単位 |    | 評価指標の推移  |      |      |      |
|-----------|-------------------|--|----|----|----------|------|------|------|
|           |                   |  |    |    | （参考）22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
| 業         | 固有職員を管理職に3人登用します。 | 固有職員の<br>管理職（課長級）<br>登用数（累計）                                     | 人  | 目標 | －        | 1    | 2    | 3    |
|           |                   |  |    | 実績 | 0        | 2    | 2    |      |
| 差異原因      |                   | ・24年度は計画通り、目標を達成した。  |    |    |          |      |      |      |
| 達成するための課題 |                   | ・管理職となる職員の育成が課題  |    |    |          |      |      |      |
| 今後の対応策    |                   | ・定期異動の実施による職域の拡大とマネジメント能力の向上に努めるほか、管理職育成研修を実施し、課長級以上となる職員の育成を図る。 |    |    |          |      |      |      |
| 所管局の見解    |                   | ・管理職育成研修等の人材育成計画の内容充実や、着実な実施など、引き続き人材育成に取り組んでください。               |    |    |          |      |      |      |

※ 公…公益的使命の達成 財…財務の改善 業…業務・組織の改革 の3つの視点の分類を表しています。  
※ 評価指標が複数の場合は、重要性を比重により示しています。